

## 女性都議に対する野次について声明文

民主党東京都第23区総支部  
総支部長 榎渕万里  
幹事長 今村るか  
常任幹事一同

2014年6月18日、東京都議会本会議において、女性議員が、女性の妊娠・出産における都の施策や支援体制について一般質問をしていた際に、議席の一部から男性の声で「自分が早く結婚した方がいい」「産めないのか」などといった野次が飛ばされました。

我が国の首都東京における議会の品位を貶めるだけでなく、今回の発言は妊娠や出産をのぞむすべての女性の尊厳や人格を踏みにじる発言として看過することはできません。女性であることを理由に、個人の意志や事情に関係なく結婚や妊娠を強要するような人権感覚の欠如した発言であるばかりでなく、人口減少社会において出生率の低下や晩婚化が我が国全体の問題になっている状況下、全国一、出生率の低い東京が抱える課題解決にむけて積極的な議論を深めるべき議会において女性に対する偏見差別があったことに大いに失望するものです。

発言した都議会議員は自ら、真摯なる反省と厳粛な謝罪をするべきであると考えます。

世界経済フォーラムが発表するグローバル・ジェンダー・ギャップ報告書の男女平等ランキングによれば、日本は135か国中105位という不名誉な状況が続いています。各国ともに持続可能な社会と経済成長の必須条件として女性の活躍が期待され、同時に、子どもの育ちを根幹にすえて安心して産み育てられる社会にむけて、首都東京にはオープンな議論のうえにたった大きな役割と使命があります。

国際社会が注目する東京において、あらゆる立場の人が尊厳と人格が守られ、品位ある議会運営のもとで女性の支援や少子化施策がより一層推進されることを切にのぞみます。

私たちは引き続き、男女共同参画社会を推進してまいります。

2014年6月20日